

「東北大学サイバーサイエンスセンター講習会 in 秋田大学」に参加して

吉崎 弘一

秋田大学総合情報処理センター

平成 22 年 6 月 18 日に、「東北大学サイバーサイエンスセンター講習会 in 秋田」が、秋田大学総合情報処理センターにて開催されました。同講習会は、東北大学サイバーサイエンスセンターと秋田大学総合情報処理センターの共催として開催しましたので、会場の様子などをここでご紹介したいと思います。

講習会では、国際無線 LAN ローミング基盤である eduroam と、東北大学が保有するベクトル並列型スーパーコンピュータ SX-9 についてのご講演がありました。また、講習会後半では、SX-9 が全国共同利用施設であることを踏まえ、講習会参加者が会場から東北大学の SX-9 システムに遠隔ログインし、実際に SX-9 上でプログラムを実行する実習が行われました。

講習会後に参加者に記載してもらったアンケートを見ますと、その半数以上が学部学生であり、ベクトル並列型高速演算装置を用いるのは、今回が初めてであったことが分かります。この多くのスーパーコンピュータ初心者にとっても、講演に加えて SX-9 の実習時間が設けられていたため、その利用技術の理解を深めることができたように思います。このことは、アンケートの項目「今回の講習会のよかった点」として回答された、「実際にコンパイル、ジョブ投入等の作業を体験可能なこと」、「知らないコマンドがあったので面白かった。いろいろな手法を身につけることができた」などを見ても分かります。また、秋田大学が保有する SX-8i と連携して研究を進める上でも、今回の講習会は有意義なものであったと感じています。

最後になりますが、講習会の開催にあたり、東北大学サイバーサイエンスセンター長の小林広明先生や水木敬明先生を始めとする東北大学サイバーサイエンスセンターの方々には大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

